

「一步も譲れない！」熾烈なトップ争い

第21回アップル町民駅伝競走大会  
(10月10日/第7区西船渡地内)

特集／町の将来を担う子どもたちの生活リズムを考える

市政スポット／9月定例議会 町長選挙・町議会議員補欠選挙日程

10月1日村町職員人事 サテライト朝日新築工事起工式 ほか

まちの話題／朝日町町制施行50周年記念事業～秋の行事がめじろ押し～

北リンピック・3保育園合同運動会・交通安全町民大会

わくわくドキドキ人形劇まつり・第21回アップル町民駅伝競走大会

西五百川小学校・大谷小学校大沼分校で創立130周年記念行事

本物の舞台芸術体験事業 ミュージカルリーディング「野菊の墓」 ほか



広報 あさひまち 2004年10月  
No.575

特集●町の将来を担う子どもたちの生活リズムを考える

# 子どもたちの食生活の実態と朝食の大切さについて

## 生活リズムの崩れで朝食がとれない? 町栄養士会の「食生活しらべ」から



朝食は家族みんなで楽しくとりたいもの（大隅の鈴木啓一さん宅）

まず、町内の小中学生全員を対象にした「食生活しらべ」の調査を、町の栄養士会が実施していますので、その結果をご覧いただることにより、朝日町の子どもたちの実態を把握していただきたいと思います。

（図1）をご覧ください。

朝ごはんを食べてきたか否かについての結果です。総数では全体の三分の二に当たる68・8%、五百十人の子が「しつかり食べた」と回答しています。「少し食べた」という子を含めると96・4%の子が、何かしらを口にしてきていることがわかります。しかし、3・6%と割合的に少ないとは言え、二十七人の子が欠食で登校していることがわかります。

これを学年別に見ると、中学二年生以上の子、その中でも特に、男子生徒に欠食の子が見受けられます。また、学年が高くなるにつれ「しつかり食べた」

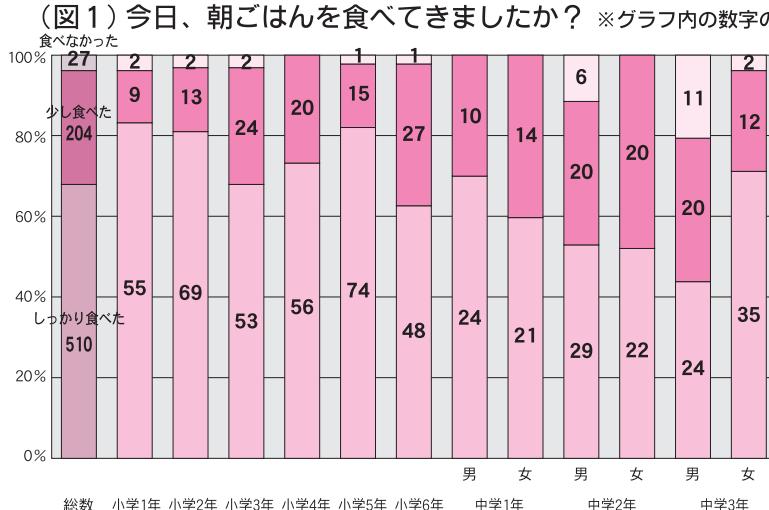
現在、日本では生活習慣病の増加などにより、一次予防としての食育（幼いときからの健全な食事が教育の基本だという考え方）が重要視されてきています。厚生労働省による国民栄養調査（4ページ図6参考）によると、日本国民の朝食をとらない人の割合（欠食率）は、若い世代ほど多くなる傾向を示しており、今後健康への影響が心配されています。

このことを踏まえて朝日町栄養士会（成原千枝代表）では、給食施設、家庭、地域等がそれぞれ連携して食育を推進し、早い時期からの望ましい「食習慣形成推進支援」策を考えようと、町の小中学生の朝食について実態を把握するためのアンケート調査を実施しました。

「食」は「人」を「良くする」と書きます。今回の特集では、次代を担う朝日町の子どもたちが、心身ともに健康に成長するための源となる朝食の大切さについて考えます。

の割合が少なくなつてきて いる  
こと もわかります。

町栄養士会では、欠食者ゼロをめざすことに主眼を置きながら、「少し食べた」という子にも着目しています。それは、少し食べればそれでいいと言うことでは決してないからです。全体で三分の一に当たる子が、成長長期に最低必要な栄養を摂取していない訳ですから、ある意味

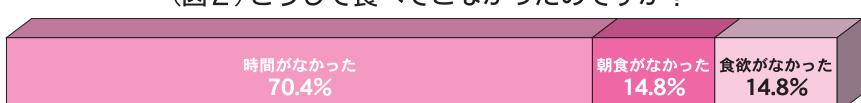


でこの結果は、現代社会の朝食のとり方に警告を発しているのかもしれません。

欠食の子にその理由を聞いてみた結果が(図2)のとおりです。70・4%に当たる十九人の子が「時間がなかつたから」と答えています。町栄養士会では身だしなみに時間がかかり朝食は二の次になつてしまつていてこと、朝が弱くてどうしても起

「起床 朝食 昼食 晩食 夕食、就寝」を一日の生活リズムの「節目<sup>べきめい</sup>と捉えている町。栄養士会では、「小さな子どもたちまでもが、夜型の生活にはまってしまう現代の社会構造は軽視できない。子どもたちの生活リズムが大きく乱れていることが食育にも影響を及ぼしている」と指摘し

(図2) どうして食べてこなかつたのですか?



がない」ということは、朝食を作つてもらえないという、原因が自分以外の所に存在する要素と捉えることもできるので、この場合、自身でその解決方法を見つけ出すことはできました。「時間がなかったから」と答えた子より、「朝食がなかったから」と答えた子の方に、より重大な問題が存在するように思われます。

が原因なのではと推測しています。併せて、就寝の時刻が遅いなど、生活習慣の乱れや、朝食の重低さに対する意識の低さを指摘しています。

になってしまっている  
が弱くてどうしても起  
きられないことなど

ています。  
もう一つ着目  
したい点は、

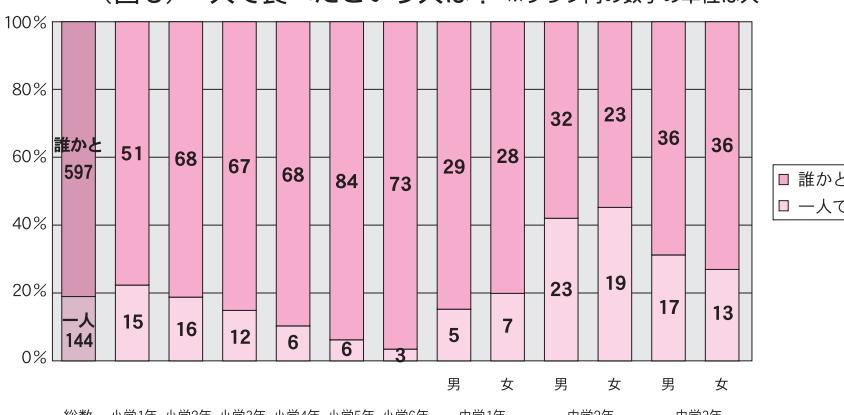
答えた子に、誰と一緒に食べたのかを聞いた結果が（図4）です。全体の五分の一に当たる19・

と標記します)「と答えていました。そして、どの学年層にも孤食の子が少なからず存在しています(図3)。

と、より孤食の子が増える傾向にあります。

(図4) でも分かるとおり、誰かと一緒に食べたという子では、「兄弟姉妹と一緒に」と答えた子が最も多く、全体の73・7%に当たる五百四十七人。次に、「お母さんと一緒に」と答えた子が三百二十八人(44・2%)、「おじいちゃんおばあちゃんと一緒に」と答えた子が二百九十四人(39・6%)、「お父さんと一緒に」と答えた子が二

(図3)一人で食べたという人は? ※グラフ内の数字の単位は人



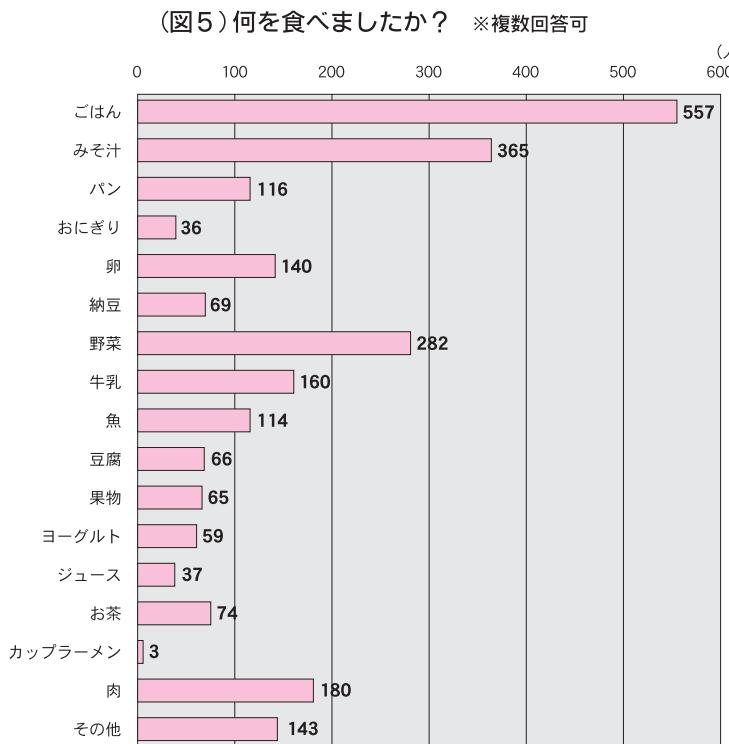
(図4)誰と一緒に食べましたか? ※複数回答可



百十九人（29・5%）と続きま  
す。

更に、「少しでも食べた」と答えた子に何を食べたのかを聞いてみた結果が（図5）のとおりです。朝食の主食の中心はごはんであり、みそ汁、野菜と統合させが多く、和食の献立が多いようです。

しかし、町栄養士会では、主食と汁物のみを食べててきた子が予想以上に多く見られたことに注視しています。また、「少し食べた」という子の中には、例え牛乳のみ、果物のみ、ヨー



欠食の理由は実は大人に原因が…

## 分析結果から見えてくる課題

これらのアンケート調査の結果をもとに、町栄養士会では町健康福祉課及び朝日中学校と連携を取りながら「欠食ゼロ運動」を展開しています。まずは、

「朝どんなに忙しくても、何か少しでいいから口に入れるよにしますよう！」という運動です。また、「少しは食べた」という子にも、積極的な啓発運動を展開していきます。

らテーブルに着いてみてください。そこで自ら家族に呼びかけてみてください。また、朝食の大切さは分かつてているのにそれができない。「頭で理解できても実行に移せない」という方もいるよう

A bar chart titled "男子" (Men) showing the percentage of men who skip breakfast across different age groups. The y-axis represents the percentage from 0.0% to 4.0%. The x-axis shows age groups: 50~59歳, 70歳以上, and 1~6歳. The bars are pink.

年齢	割合
50~59歳	4.3%
70歳以上	10.8%
1~6歳	4.4%
60~69歳	2.3%

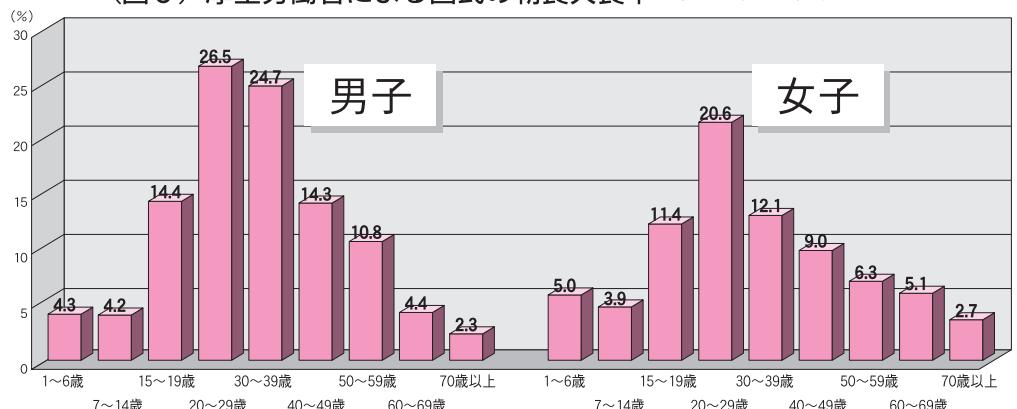
グルトのみといった子もいたほか、朝食からカツ丼やラーメンだけを食べている子もいたとのことです。

これらのことから見えてくることは、「朝食を食べた」とは

||タンパク質 F || 脂質 C ||  
炭水化物)に偏りがある可能性が考えられること。また、成長期の体を支えるのに十分な栄養が摂取されていない可能性が考えられるということです。

くらいの割合になるでしょう。  
お父さんお母さん方はきちんと  
朝食をとっているでしようか。  
時間がないからと言つて簡単に  
済ませたりしていないでしよう  
か。

(図6) 厚生労働省による国民の朝食欠食率(平成14年国民栄養調査から)



期流行したことがあります。しかし、一日二食ということは、空腹時間が長くなるので飢餓状態になつていると脳が判断し、次に入ってきた食べ物をできるだけ無駄なく利用しようとするため、体内に脂肪として蓄積しやすくなります。つまり目的と

は異なった、全く逆の効果が働くことになるのです。

また、わたしたちの体には、

太陽が昇ると目覚め、太陽が沈むと眠るという「体内時計」が備わっています。現代社会の典型とも言われる夜型の生活や、それらに伴う不規則な食事は、

体のリズムを乱し健康を損ねることになります。「起床、朝食、昼食、夕食、就寝」これら五つの一日の節目をきちんと見直すことで、普段から体内時計のリズムに適応した生活を送ることができます。できるよう、家族が一緒に心がけていくことが必要です。

もう一つの課題が、「何をどう

のくらい食べたらいいのかが分からぬ」という方が多いことです。

以前、広報紙でも紹介したこ

とがありますが、朝食も工夫し

だいで手軽にできるものが結構あります。前の日に炊飯器のタ

イマーをセットして、夕食のついでにおかずの下ごしらえをしておく。残ったみそ汁とご飯で

おじやにするとか、缶詰のミー

トソースとチーズをのせたト

ーストにすると、もしかすると、

みなさんの中にも「朝食の素材

と調理法にこんな工夫をしてい

ますよ」という方がいらっしゃると思います。そんな情報など

があればぜひお寄せください。以上のように、①習慣が身に付いていない。②知識が実行に結びつかない。③何をどのくらい食べればいいのか分からぬ」という、むしろ子どもたちよりも大人たちに与えられているこれらの課題を明確にし、「欠食ゼロ」運動を積極的に展開していく

子どもたちの病気や不健全な状態の原因に、必ず食生活の乱れがあるというのは、現代の社会では常識化していること。しかし、全ての家庭できちんととした食事ができているとは言えません。保護者に全て依存するの

大人们に与えられているこれらの課題を明確にし、「欠食ゼロ」運動を積極的に展開していく

子どもたちの病気や不健全な状態の原因に、必ず食生活の乱

れがあるというのは、現代の社会では常識化していること。しかし、全ての家庭できちんと

した食事ができているとは言えま

せん。保護者に全て依存するの

ではなく、子どもたち自らが自立して、少なくとも体に良いものを選択する。そして選択する知恵を与える。というのが、食育の本来の目的ですが、もつと朝食の重要性に対する保護者の認識も必要なではないでしょ

うか。最後に、子どもの朝食欠食改善事業を進めるために今年の四月一日、「朝ごはん条例」を制定した全国でも珍しい自治体、青森県鶴田町の例を紹介します。この条例は基本方針など十一カ条からなり、町長を本部長とする朝ごはん運動推進本部を設置。自ら健康な食生活と子どもの頃からの正しい食習慣の普及を図っていくほか、子どもが積極的に朝ごはん運動の活動に取り組めるよう、保護者や町民の責務などを定めています。



## 学習意欲や活力の源…

# 朝食はぜひ大人と一緒に！

朝日中学校養護教諭 森村頼子先生

必ずしも朝食をとてこない生徒とは限りませんが、体に不調を訴え保健室を利用する生徒は、就寝・起床時刻が遅く朝食をとてこない場合が多いようです。食べるというリズムができていないのでしょうか。

食に対して楽しみがないため食欲がわからない。食欲がわからない生徒は、全ての面において意欲や活力に欠ける傾向が強くあります。その他の特徴としては、集中力がない、些細なことでイライラしすぐカッとなる、授業中ボートとしている、等々が挙げられます。また、食事の内容が良くないと、学習態度や言動にも悪い影響を与えるような傾向が見られます。

その原因として考えられるのが、親の生活に子どもたちが巻き込まれているのではないか、ということです。親自身がやっていることは何でも肯定し、やっていないことは否定する。全て自分が基準と考えている親がいるようです。

食は生きるための最低の欲求。中学2年生の調査結果にも顕著に表れているとおり、子ども一人ではしっかりと朝食がとれない傾向がありますので、朝食はぜひ大人と一緒にとつてほしいと思います。

## 朝食のススメ

忙しい朝、こんなメニューはいかがですか。



## 青森県鶴田町 朝ごはん条例

第1条 この条例は、…米文化の継承を通して正しい食習慣の普及と健康増進を図るために、鶴田町における朝ごはん運動についての基本方針を定め、併せて町長、町民、関係機関及び関係団体等の責務を明らかにする…。

第2条 町長は、次の各号に掲げる事項を基本方針として、…朝ごはん運動を推進するものとする。

### (1)ごはんを中心とした食生活の改善

### (2)早寝、早起き運動の推進

### (5)食育推進の強化

### (6)米文化の継承

第8条 父母等の保護者は、朝ごはん運動における第一義的責任を有している家庭が果たすべき役割を踏まえ、その責任を十分に自覚し、主体的かつ積極的に子どもの朝ごはん運動の推進に関する活動に取り組むものとする。

(※主な条文を抜粋)

# 定例議会

9月定例議会が8日から6日間の日程で開かれ、「町道朝日線ほか9路線及び河川2カ所の工事請負費」や「財務会計システム導入委託料」など、歳入歳出それぞれに1億1,490万円を追加し、平成16年度予算総額45億4,520万円とする一般会計補正予算など20議案（内2件は国への意見書提出）が審議、可決・承認されました。議案の採決事項は次のとおりです。

- ①朝日町教育委員会委員に鈴木三郎氏（西町）を再任する。

②朝日町教育委員会委員に長岡重利氏（西町）を新任する。

③平成十六年度朝日町一般会計補正予算について、歳入歳出それぞれに一億一千四百九十万円を追加し、予算総額四十五億四千五百二十万円とする。

【原案可決】

【原案可決】  
口町老人保健  
昇について、

- 看護士の公募を行い八月十六日に締め切ったが、その結果二名の申し込みを受理。一次試験を九月十九日に県内各市町村合同による統一試験として実施。

町政報告

定について　【原案可決】  
日町消防団の実団員数の減  
に伴う、朝日町消防団条例  
一部を改正する条例の制定  
について　【原案可決】

- 検討している。それらを基に実施設計を策定。現在、工事が順調に進んでいる。

**今後もいろいろな事業が展開される旧小学校施設**

町と東北芸術工科大学及び価値ある水本小学校を活かす会などをメンバーとする「朝日町あたらしいがつこう設立支援委員会」を組織。立木、送橋、上郷、水本の四校で映

志藤六郎村おこし基金による  
補助事業として五件を決定

- 前の乳幼児医療給付事業 ■ 所得制限額が緩和された就学 ■ 学校三年生終了時まで延長。

七月一日からの県の補助並大を受けて、所得制限額が緩和。約98%の方が該当するところになつた。

■ りんご新品種「シナノすいと」と順調に生産を伸ばす

■ 水稻の生育状況は「やや良」

■ 早生種のつがるは、春先の

国民税94・5% 固定資産税95・5%  
5%、国民健康保険税92・1%  
%。収納率向上に今後も努め  
ていく。

**定こつへて**  
**【原案可決】**

する国道の右折レーン設置工

写会を実施した。今後も支

⑯⑰朝日町育英資金貸与条例に

事については、地権者との用

委員会が中心になつて、様々

The banner features the title '町政報告' (Town Government Report) in large white letters on a red background. Below it, the subtitle '場外車券場の工事始まる' (Construction of the off-site car ticket hall begins) is written in smaller white text. The background of the banner is red.

志藤六郎村おこし基金による  
補助事業として五件を決定  
運営委員会で申請のあつた六  
件について審査した結果、  
「杉山神明・神社・獅子舞の幕及  
び網笠整備事業」など五件を  
適当と認め、総額二百七十九  
万一千円の補助金を決定。  
**住民の意見を取り入れた朝日**  
**分校跡地利用の整備がスタート**  
今年度整備予定の県有地部  
分について、住民の意見を取  
り入れた整備を進めていくた  
め、「豊龍の丘整備推進協議  
会」の施設、整備、活用の三  
部会が中心となって具体的に  
検討している。それらを基に  
実施設計を策定。現在、工事  
が順調に進んでいる。  
**今後もいろいろな事業が展開**  
**される旧小学校施設**  
町と東北芸術工科大学及び  
価値ある水本小学校を活かす  
会などをメンバーとする「朝  
日町あたらしいがつこう設立  
支援委員会」を組織。立木、  
送橋、上郷、水本の四校で映

**町税の口座振替収納率を公表**

軽自動車税 96・0%、町税  
民税 94・5%、固定資産税 95・  
5%、国民健康保険税 92・1%。  
%。収納率向上に今後も努め  
ていく。

**七月の集中豪雨による災害状況を公表**

幸いにして人的被害はなかつ  
たが、道路を中心に多大な被  
害が発生した。土木関連の施  
設では、町道朝日線を始めと  
する町道の路肩決壊、暗渠埋  
没など二十一カ所。復旧工事  
費も九千万円を超えるものと  
試算している。

**児童手当支給対象年齢が延長**

支給対象年齢が、これまで  
の義務教育就学前までから小  
学校三年生終了時まで延長。  
**所得制限額が緩和された就学**  
**前の乳幼児医療給付事業**

七月一日からの県の補助粒  
大を受けて、所得制限額が緩  
和。約98%の方が該当するこ  
とになった。

**りんご新品种「シナノすいか」**  
順調に生産を伸ばす

**水稻の生育状況は「やや良」**  
早生種のつがるは、春先の

# 朝日町議会議員補欠選挙

告示日は11月16日(火)

# 朝日町長選挙

投票日は11月21日(日)

今年12月7日の任期満了にともなう朝日町長選挙の日程が、先の選舉管理委員会で決まりました。11月16日告示、同月21日投票で行われます。

また、町議会議員補欠選挙も同日に行われます。

## ◎投票ができる方。

昭和59年11月22日以前に生まれた方で、平成16年8月15日までに転入届を出し、投票の当日、朝日町に住所を有する方です。

## ◎期日前投票ができます。

投票日に次の理由で投票できない方は、期日前投票をすることができます。

①投票日に仕事などで投票所に行けない方。  
②投票日に何らかの理由で投票区の区分

## ◎期日前投票のできる場所と期間。

・場所 朝日町開発センター

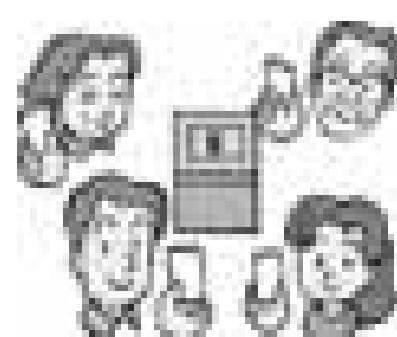
(1階 研修室)

・期間  
11月17日(水)～11月20日(土)  
・時間 午前8時30分～午後8時

## ◎その他にも投票しやすくなります。

投票日は、新たに郵便等による不在者投票ができるようになります。  
②上肢または視覚の障害の程度が1級の身体障害者及び特別項症から第2項症までの方は、郵便等による不在者投票における代理記載をさせることができます。

その他詳しいことは、町選舉管理委員会(☎671-2111)へお問い合わせください。



降霜による影響で、さび果の発生が多かった。加えて、この夏の猛暑の影響で着色が遅れたが、果肉の熟度は進んだ。りんご「シナノすい」とが順調に生産を伸ばす。本年は一万ケースを上回る予定。天候にも恵まれ順調な生育状況となつた水稻の出来は「やや良」。

### ■試験運転に向け整備が進む堆肥センター

中山間地域総合整備事業で

整備している堆肥センター。

発酵棟・保管庫・管理棟が発注され、十一月の試験運転に向けて順調に進んでいる。

### ■合併浄化槽設置事業の申請件数90基と順調に推移

今年度は100基分を予算化。

設置奨励金の交付が今年度限りということもあり、事業申請件数は順調に伸びている。

### ■順調に工事が進む新明鏡橋

来年一月には、中央で結合される予定。

### ■左沢高校の存続に危機感

少子化の影響により、大幅な高校再編計画が進もうとしている。町教育委員会とともに大江町教育委員会等と歩調を合わせて、設立をめざしていき、「支援する会」を支援していく考え。

“みんなの一票で明るい朝日町を”

くぬぎ だいら

# 槇平の棚田保全に取り組む 地域住民と行政との協働による試み

## 協働による町づくり第2弾！

平成11年7月、国（農林水産省）が認定する「全国棚田100選」に選ばれた「槇平の棚田」を、今後どのように保存していくかを考えるワークショップが、9月12日に能中公民館で開催されました。この地区では、今年「槇平棚田保全活動推進委員会（志藤勝幸会長）」を設立し、年度内に今後の棚田保全に向けた活動計画を策定する予定です。平成17年度からは、その計画を実際の活動に移行していきたいと考えています。

この日は、小学校1年生からお年寄りの方まで約90人の参加を得て、1日かけて棚田について話し合いました。まずは、自分の立場で棚田を知ることを目的に、8班に分かれて現場の探検です。直接歩いて棚田を見つめ直すことで、新たな発見がたくさんありました。

その後会場に戻った参加者は、この発見から、何が大切で何が課題なのかを話し合っていきます。お昼には、地元のお母さんたちの協力により、刈り取られたばかりの棚田米をおにぎりにしていただきました。

今回発見した「水路や道路が狭い」「電話柱が棚田の景観を損ねている」「耕作放棄地も発生していて、これから広がりが心配される」など、様々なことについて班ごとに発表しました。朝、何が始まるのかわからず集まった参加者も、この頃になるとみんな真剣そのものです。奇抜な発想で笑いが起こる一幕もありました。

次のワークショップでは、今回の成果をもとに棚田を保全していくための提案をみんなで探っていきます。それを、いつ、誰が、どのような方法で取り組ん

でいったら良いのかも考えてみます。

参加者の声。「地元にいるのに初めての発見がたくさんありました。この様な機会がなければずっと知らずにいたのかもしれません」と話す渡辺久子さん（能中）。「豊かな緑と真っ青な空。槇平の棚田は日本一の景観です。この機会を無駄にすることなく、地区的発展につながればと思います」と鈴木たか子さん（能中）は、今回参加した感想を語ってくれました。

広報あさひまち9月号の特集でも紹介しましたが、行政と住民の協働のまちづくりを進めていくためのひとつの手法として「ワークショップ（地域の人みんなで考える集会）」というものに取り組んでいます。今後も、地域住民の方々から積極的に参加をしていただくワークショップを通して、活気ある「まちづくり」を進めていきたいと考えています。



工事の安全を祈願し鍵入れを行う篠崎社長代理（右）と白井助役（左）

### サテライト朝日新築工事起工式

競輪場外車券場「サテライト朝日」の新築工事起工式が9月17日、現場関係者ら約30人が出席し中沢の現地で行われました。工事の無事安全を祈願し、株式会社サテライト朝日の篠崎光正社長代理と白井淑浩助役による鍵入れが行われた後、川口幸次郎町議会議長や堀勇中沢区長、工事関係者らによって玉串が供えされました。

町の活性化にとって有益な施設であり、雇用の場の確保のために、企業誘致の一環として町としても力を注いできました。町が代行して発注する国道287号線の右折レーンの取付工事についても、地元地権者の方々から承諾をいただき現在工事が始まっています。

来春の4月オープンをめざし、工事は順調に進んでいます。併せて、ハローワーク（職業安定所）を通じて従業員の募集も行いますが、近々発行のお知らせ板にも掲載する予定です。



教育長  
長岡重利（54歳・西町）

昭和43年 朝日町役場奉職  
平成12年 企画課長2年  
平成14年 総務課長2年6ヶ月  
平成16年10月1日 教育長就任

## 就任 のあいさつ

### 誠心誠意全力で取り組む

このたび10月1日付で教育長の大役を拝命いたしました。

もとより浅学非才、しかも若輩の身であり、重責の任に身の引き締まる思いでいっぱいあります。

現在、地方分権に伴う三位一体の改革をめぐる義務教育等への波及をはじめ、連日のようにマスコミで報道される児童虐待や家族崩壊の問題など、教育をとりまく環境は一段と厳しさを増しています。

当町においても、小学校の学区再編をはじめ、「心の教育」の充実と「確かな学力」の向上策、少子高齢化に伴う家庭、地域の教育力を高める取り組みなど、大きな課題を抱えています。

変化の激しい社会にある今こそ、町民の皆様方、教育現場で力を発揮している教職員の方々、関係機関、団体が互いに知恵を出し合い、連携しあって「次代を創る子どもたちの幸せを高める」環境づくりに、総力でとりくむことが大切であると認識しております。

町制施行50周年を迎えて、今まで関係各位が町民の皆様とともに営々として築いてきた朝日町の教育を停滞させることなく、少しでも着実に前進できるよう誠心誠意、全力で取り組んで参ります。

今後とも、皆様のご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げ、あいさつといたします。



前教育長  
原喜内（63歳・大谷五）

昭和38年 朝日町役場奉職  
昭和62年 北部出張所長2年  
平成元年 管理課長5年  
平成6年 農林課長3年  
平成9年 総務課長2年3ヶ月  
平成11年 教育長5年3ヶ月  
平成16年9月30日 教育長退任

## 退任 のあいさつ

### 皆様からのご厚情に感謝

平成11年7月、故阿部美喜男氏の後を受け教育長に就任し以来5年3ヶ月。町民の皆様のご指導と励ましたを受けながら、大きな瑕疵もなく勤めさせていただき、本年9月30日の任期満了をもって退任させていただきました。

ふり返りますと、就任当時は過疎化・少子化の大波をもろに被り、小学校の統合・学区再編の渦中にありました。いずれの学校も120有余年の歴史を重ね、地域文化の拠点として、地域の振興や地区民の絆を育んできました。これを閉じることの是と非に、多くの論がありました。「子どもたちが大きく成長するには、集団の中での練り合いや学び合いが大切。明日を担う子どもたちの為に…」を焦点に統合を進めてまいりました。何時の世でも、嬉々として逞しく行動する子どもたちの姿は地域活性のバロメーターです。今、そんな子どもたちを見て安堵しています。統合後の廃校舎については、今後も様々な角度から検討され地域にとって有効に活用されることを願っています。

また、在任期間中は、多くのリーダーの下学習活動やスポーツ活動、そして芸術文化活動など、素晴らしい住民パワーに感動を覚えました。感謝します。

最後に、在任中皆様から賜りましたご指導とご厚情に感謝申し上げ、退任のあいさつといたします。

## 人事異動（十月一日付）

△ 教育委員会 △ 教育長 長岡重利	◆ 退職者 (九月三十日付) △ 課長補佐兼生涯学習係長／橋間友則	■ 生涯学習課 △ 主査兼農政係長／三浦浩一（農業研究所主任研究員）△ 農業研究所主任研究員／長岡 勉（産業振興課主任）	■ 産業振興課 △ 課長補佐兼福祉係長／白田久寿（健康福祉課主任）△ 課長補佐兼子育て支援係長／阿部弘美（健康福祉課主任）	■ 税務町民課 △ 課長補佐兼防災係長／佐竹長司（税務町民課主査兼防災係長）△ 主査兼町民税係長／井上智恵美（町民税係長）	■ 企画課 △ 課長補佐兼協働推進係長／川口幸男（企画課主査兼協働推進係長）△ 主任／遠藤憲一（生涯学習課主任）	■ 総務課 △ 課長 富樫清志 （企画課長補佐） △ 課長補佐兼農政係長／三浦浩一（農業研究所主任研究員）△ 農業研究所主任研究員／長岡 勉（産業振興課主任）
--------------------------	---	---	--	--	---	---



# まちの話題

## ①朝日町町制施行50周年記念事業

～秋の行事がめじろおし～



### 4年振りのスポーツの祭典

オリンピックの年に合わせて4年に1度開催されている**北部地区スポーツの祭典「北リンピック」**が9月19日、大谷小学校を主会場に開催されました。心配された天候も午前中には回復し、開会式が行われた小学校のグラウンドは、汗ばむほどの陽気に包まれました。

従来のような運動会形式とは異なり、5つの競技（ソフトボール、バレーボール、ビーチバレー、グラウンドゴルフ、輪投げ）をそれぞれの会場で行い、赤・白・黄・青の各組毎に総合得点を争う形式がとられました。

即席に作られる組とは言え約500人の参加者たちは、それぞれの競技に終始笑顔でプレーし、爽やかな一時を過ごしていました。結果は次のとおりです。

1位：黄組（大谷二、大谷三、大谷五） 2位：白組（中沢、栗木沢、川通） 3位：赤組（大谷一、大谷四、大谷六、舟渡） 4位：青組（大谷七、真中、大暮山、大沼）



### 感動の輪が広がった一日

官宿小学校グランドを会場に9月26日、**町内3保育園による合同運動会**が開催されました。我が子、我が孫の姿を一目見ようとつめかけた、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんは総勢800人。

188人の園児が保育園の枠を越えてかけっこ、障害物競走、全体遊戯など元気いっぱいグラウンドを駆け回っていました。園児の元気に負けじとお父さん、お母さんもハッスルハッスル。

時折降ってきた雨や寒さにも負けず、全園児で踊った「うんとこどっこい祝い唄」はとても迫力がありました。園児たちの笑顔とかけ声、感動の輪がグラウンドいっぱいに広がった一日でした。



### 交通事故のない安全な町に

**交通安全町民大会**が9月28日、関係者ら約350人が参加し、創遊館ホールで開催されました。この1年間の交通事故犠牲者に対し黙祷が捧げられた後、交通安全運動に功績のあった渡辺勇一さん（西原）、佐竹敦子さん（高田）、前田沢いきいきクラブの3者に功労賞が授与されました

交通安全に関する意見・体験発表では、「あの集落を訪問さえしていれば、あの事故は防げたかもしれません」と涙ながらに語った「交通安全母の会」代表の阿部茂子さん（新宿）を始め、伊藤秀一さん（四ノ沢）、鈴木千穂さん（大谷五）、柴田圭三さん（大町）、長岡ひとみさん（本町）、阿部記和さん（夏草）の6人が、それぞれの立場で交通安全を呼びかけました。



## よみがえ 昨年の感動が再び甦る

昨年の感動をもう一度！。国民文化祭開催から1周年を迎えた記念事業として開催された**わくわくドキドキ人形劇まつり**。創遊館を会場に10月3日、賑やかに開催されました。

昨年誕生した人形劇団「はなまる」による「～神おわす沼～浮島物語」の続編「浮島物語その後」が、今回は「劇団りんご村から」と「おはなし会ぶなの実」により発表されることもあり、開場前から長蛇の列ができました。特に、りんご村からの公演は、平成10年以来の久しぶりの復活公演となり、観客からは大きな



拍手が送られました。

その他に、県内のみならず遠くは長野県から協力をいただいた「寺谷しょう劇場」やメルヘン一座「ばく」（新潟県）、そして、もうお馴染みとなったプッチャリン（東京都）による大道芸が、会場を大いに盛り上げました。

最後は、プッチャリンと渡辺恵美子さん（大谷五）による思いがけない寸劇が始まり、「できればまた来年も皆さんとお会いしたい！」という強い願いが込められた会場は拍手の渦に包まれていました。



## 今年の頂点は三中チーム

**第21回アップル町民駅伝競走大会**が10月10日、町内全域から13チームの参加で賑やかに開催されました。

午前9時30分の号砲とともに1区の小学生が創遊館前をスタート。全11区間(24.9km)に熱戦を繰り広げました。みごと本大会を制したのは、阿部正昭（八ツ沼）監督率いる三中チーム。4年振り4回目の優勝です。

スポーツ山形21に所属する吉田進監督と、同所属県長距離界のトップランナー熊坂香織選手、小鷹幸子選手も小学生ランナーと共に爽やかな汗を流し、今大会に華を添えました。以下の成績は次のとおりです。

②大谷風神③上郷④チーム前田沢⑤中沢・玉ノ井⑥太郎

## ②大谷小学校大沼分校創立130周年感謝の集い



## 子どもらの歌声で分校歌復活

創立130周年を記念した感謝の集いが10月9日、大谷小学校大沼分校の体育館で開催されました。その中で、“きよくしづかな浮島の 木々に囲まれ すぐすぐの

びる～”昭和46年に同校の児童会が作詞作曲した「大沼分校の歌」が、フォークコーラスグループ「あめっかぜ」の歌声と8人の子どもたちにより再現。会場に詰めかけた区民ら約60人が、当時のことを思い出したかのように静かに聞き入りました。

歌詞は存在していたものの楽譜が見つからず、これまで歌い継がれることはなかった分校の歌。しかし、当時この学校で教鞭を執っていた小林たに先生（寒河江市）に問い合わせたところ、楽譜は先生の手によって大切に保管されていました。小林先生からも直接ご指導をいただきながら数回の練習を重ね、創立130周年にあたる今年、お披露目となったもの。これからも文化祭などの行事で歌い続けていくとのことです。

## ③西五百川小学校創立130周年記念式典 記念学芸会



### 130年の伝統に新たな歴史を

西五百川尋常小学校として明治25年に開校した西五百川小学校（小林道和校長／児童数103人）。今年で創立130周年を迎えた10月1日、歴代の校長やPTA会長など多くの来賓が招待され記念の式典が行われました。会場には「わたしの小学校…思い出の写真展」と題した写真パネルも展示。訪れた地域の人々は懐かしそうに見入っていました。

式典の中で小林校長は、「誰かのために何かできる源次兵衛さんのようになることを目標にしていくと共

に、伝統を守りながらも新しい校風づくりに励んでいきたい」と、これまでの永い歴史を振り返りながら式辞を述べました。6年の松田志穂さん（太郎二）は、「130年の歴史にもっと良い歴史を積み重ねていくため、103人みんなが努力していきます」と強い決意のあいさつ。

式典終了後は、創立130周年記念の学芸会を開催。昔の学校の授業風景を再現した1、2年生の劇は、余りにもリアルで滑稽な演技で会場は笑いの渦に。「ふるさと」の全員合唱で締めくくった会場には、爽やかな歌声が響き渡っていました。

## ⑤海の子山の子交流「山の集い」

### もぎたてりんごに浜っ子感動

宮城県七ヶ浜町の汐見小学校と和合小学校（長岡信悦校長）との交流会が10月2日、朝日町を会場に開催されました。去る7月25日の「海の集い」では、山の子（和合っ子）たちが海の子（七ヶ浜っ子）たちに会いに行く内容でしたが、今回はその逆で海の子たちが山の子たちに会いに来たもの。仙山（仙台と山形）交流事業の一環として一昨年から始まったこの行事も今回で5回目を迎えました。今回参加したのは、和合っ子23人と七ヶ浜っ子25人（共に5～6年生）とその保護者たち合わせて84人。

和合平の広大なりんご園地を見学した後、一行は世界のりんご園に。七ヶ浜っ子たちは、「想像していたより遙かに緑が多くて気持ちいいです」と話し、始めて経験するりんごの収穫作業に感動しながら、もぎたての真っ赤なりんごをほおばっていました。

立木の河川敷に場所を移した一行は、秋の味覚満載、本場の山形芋煮を堪能し、心ゆくまで交流を楽しみました。



## ④朝日中3年生ぶどう収穫体験

### 5年後の成人式が待ち遠しい

朝日中3年生とその保護者らによる「ぶどう収穫体験会」が10月3日、ワイン城に隣接するぶどう畑で開催されました。これは、生徒たちが5年後に迎える成人式の記念品「オリジナルラベル入りの赤ワイン」の原料となるぶどうを自ら収穫することで、収穫の喜びを得ると同時に、地元ワインへの関心度を若い内から高めてもらおうと、3年前から続いている恒例の学年行事です。

村松洋一校長は、「中学3年間の楽しかったこと、辛かったことなどの思い出を、たくさん瓶の中に詰め込んでほしい」とあいさつ。「待ちに待った収穫作業。美味しいワインができるように、みんなで頑張って収穫しましょう」と、生徒を代表してあいさつした村山仁君（大谷七）。「あいにく雨の中での冷たい作業となたけれども、5年後に美味しいワインが完成することを考えたら最後まで頑張れました」と、村山裕太君（宇津野）は作業の感想を語ってくれました。



## ⑥第25回ワインまつり & 葡萄の木オーナーワイン制度2004収穫祭



### 芳醇なワインの香りを満喫

第25回朝日町ワインまつりが9月23日、賑やかに開催されました。会場となった上郷ダム公園には、朝日町ワインをこよなく愛してくれる人々1,500人が詰めかけました。開場時刻ともなれば会場入口には長蛇の列ができるのは、今となっては恒例の光景となりました。ワインカラーの制服を身にまとった5人のワイン娘が参加者を出迎えます。

この日用意された飲み放題のワインは全部で1,600リットル。その他、国産牛肉やダチョウ肉など820キロ。限定コーナーでは、牛の丸焼きやダチョウ煮込鍋などが振る舞われました。これら全てが参加者のお腹のみならず心まで満杯にしたのは言うまでもないこと。芳醇なワインの香りと秋の味覚を心ゆくまで楽しんだ参加者たちは、「朝日町ワイン最高!。来年もまた来るね」と逸る心をしまっておけないくらいに上機嫌でした。

## ⑧「シナノすい～と」もぎとり交流会

### 安心安全で幸せを呼ぶりんご

これまで信頼回復に努めてきた生産農家が、更に安全安心なりんごを消費者から直接確認してもらおうと、「シナノすい～と」もぎとり現地交流会が10月4日、舟渡のりんご農園で開催されました。町連合婦人会長の神尾喜志子さん（沼向）ら消費者を代表する5人を含め22人の関係者が参加。

さがえ西村山りんご部会長の井澤壽一さん（夏草）は、「いつ、どのような農薬を散布したか、防除歴がいつでも確認できる状況にあります。美味しさと安心安全には絶対の自信があります」とあいさつ。

参加者たちは、万全を期して生産されているもぎたてのりんごを皮ごと食し、幸せな気分に浸っていました。



### 収穫の喜びと秋の味覚を満喫

「今回初めて参加しましたが、お金が続く限りオーナーを続けたいですね」神奈川県平塚市からいらっしゃった恒川雄三さんの言葉です。

葡萄の木オーナーワイン制度を設けて独自のワインを楽しんでもらおうと、11年前から始まったこの企画。オーナーたち約300人がワイン城に集結し10月2日、収穫祭が行われました。

収穫時にちょっと一口つまみ食いしながら、余りの甘さに満点の笑みがこぼれるオーナーたち。

収穫作業に汗を流した後は、お待ちかねのバーべキューパーティーへ。町制施行50周年を記念し、この日50番目に入場した天童市の坂本茂夫さんが突然「乾杯」の指名を受けると、この粋な演出が効いたのか、会場はなごやかな雰囲気に包まれました。そして、冷たく冷やされたワインを心ゆくまで楽しんでいました。

## ⑦朝日JrMC&西川JrR交流駅伝



### 春日沼のほとりで爽やかな汗

朝日町ジュニアマラソンクラブ（JrMC）と西川町ジュニアランナーズ（JrR）との交歓交流会が9月20日、遊歩道等の整備が完了したばかりの春日沼辺で開催。走ることの楽しさを理解してもらおうと、年間を通して活動している両者が交流を始めて今回で4回目となります。

20人のちびっ子ランナーたちは、1周約1キロメートル程ある沼を1チーム5人で周回するタスキリレーに、爽やかな汗を流していました。

## ⑨朝日中吹奏楽部定期演奏会



### 2年連続県大会出場の実力

第8回朝日中学校吹奏楽部ミニコンサートが9月18日、創遊館ホールで開催されました。現部員(31人)で演奏するのはこれが最後ということもあり、部員にとつても約200人の観客にとっても特別な気持ちが入るコンサート。特に3年生(14人)にとっては中学時代の集大

成でもあり、いつまでも記憶に残るコンサートです。

2年連続で山形県吹奏楽コンクールに駒を進めた実力のあるメンバーたち。全日本吹奏楽コンクール自由曲やメドレーソングなど全12曲余りを力強く演奏し、観客からは惜しみない拍手が送られました。感極まって目頭を熱くする3年生の部員たち。「みんなが来てくれて胸がいっぱいになりました。まさか、アンコールを2回ももらえると思わなかった。吹奏楽をやって良かったです。これまで支えてくれた部員を始め、多くの関係者の皆さんにありがとうございます」と話してくれたのは部長の白田美穂さん(大町)。

今年卒業した先輩方から演奏後の感想を語ってもらいました。「上達したと思います。すごく楽しかったです」と長岡美津紀さん(太郎一)。「やっぱりジャズはいいね」と長岡仁美さん(太郎二)。「朝日中最高!」と鈴木舞さん(元町)。

## ⑪NHK佐々木元さん<sup>げん</sup>南極を語る



### 昭和基地での体験を詳しく

NHKチーフプロデューサー佐々木元さん(山形市出身)による「南極大紀行～地球の今を見つめて～」と題した講演会が10月2日、開発センターホールで開催されました。朝日中2年生の学年行事として開催されたこの企画。生徒の他、約70人の保護者たちが参加しました。

南極の昭和基地に1年4ヵ月間滞在し、今年の3月に帰国された佐々木さん。皆既日食の映像を南極から生中継で送信した世界初となるテレビ番組を制作。見た人も多いはずです。佐々木さんは、昭和基地での厳しい体験をもとに、壊れつつある地球環境などについて、過去最大の大きさにまで広がったオゾンホールを例にとり分かりやすく説明。また、「白夜ならぬ一日中明るくならない極夜(5/31～7/13)の厳しさで、太陽のありがたさを知った」などと話しました。

講演後、佐々木さんから参加者全員に、水に溶かすと数万年前から数十万年前の気泡を楽しめるという世界で最も純粋な氷「南極の氷」が贈られました。

## ⑩県民ネット最上川河川観察会



### 五百川峡は最上川の心臓部

河川などの快適な水質環境づくりを目的に6年前に発足した「県民ネット最上川」が主催する「最上川河川観察会in上郷ダム」が10月2日、現地で開催されました。これまで、最上川が流れる米沢から酒田までの各市町村で同じような行事が行われてきていますが、記念すべき10回目となる開催は、最上川で唯一ダムがある朝日町でということで、今回企画されたものです。また、最上川にとって心臓部とも言える五百川峡を抱える町ということも、今回の開催地となった理由の一つです。

約30人の参加者たちは、最初にダム施設を見学。内部のコントロール室や勢いよく回転するタービンなどを間近に感じ、水力発電の仕組みや設置されている魚道などについて学んでいました。その後、救命用のゴムボートに乗船しダム中流付近を観察したり、水質調査なども体験しました。

## ⑫本物の舞台芸術体験事業 ミュージカルリーディング「野菊の墓」



文化庁と県教育委員会及び町教育委員会の主催による「本物の舞台芸術体験事業」が9月29日、西五百川小学校を会場に開催されました。これは、優れた舞台芸術を鑑賞し、芸術文化団体等（今回は、全国で年間120ステージ以上の公演をしているプロの劇団「ミュージカルカンパニー イツツフォーリーズ」）による実技指導やワークショップ、また、これらの劇団と共に演じ本物の舞台芸術に身近に触れる機会を得ることで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養おうとするもの。山形県内では、小中高それぞれ1校ずつでの公演。西五百川小学校5、6年生たちはプロと一緒に舞台に立ち、ミュージカル「野菊の墓」に挑戦しました。

舞台設営のお手伝いから会場周辺の美化運動まで、子どもたちの積極的な行動が本番までの雰囲気を少しづつ高めていきます。本番直前のリハーサルでは、始めてこの日、劇団と合わせたということを感じさせないくらい、緊張感のある子どもたちのまなざしと動き。舞台を楽しもうと体育館に詰めかけた観客は地区民ら約170人。スポットライトを受け、「野菊の墓」を立派に演じた我が子らの姿に涙しているお父さんお母さんもいました。





# みんなのひろば

# 広報紙で振り返る朝日町の50年 其の5 (平成6年11月～平成16年10月)

## 行政主導から町民主導への新たな町づくり

全国的に高齢化が進み、中でも高齢化率の高い朝日町にも平成七年、特別養護老人ホーム「ふれあい荘」が開所し、老人福祉への対策が進められました。

組織し運営した「りんごの町の夏まつり」が開催され、町内外から約一千五百人が参加。大盛況に終わり、イベント本来のあり方を証明してくれました。

■第24回町民グラウンド・ゴルフ大会【2004秋の陣】

全国的な傾向として、その当時は、このような施設や利用者への偏った見方もあつたことは確かで、広報では、デイ・サービスなどの理解を深めてもらおうと、多くの記事が特集で掲載されています。

若者定住対策として、住宅団地の造成が進められる中、「田舎暮らしをしてみたい」と都会から転入してきた家族の話なども広報で紹介しています。

また、”自分が樂しくなければ面白くない”と

- 平成7年  
エコミュージアム国際会議（6月）  
特老「ふれあい荘」完成（7月）
- 平成8年  
松程トンネル完成（3月）  
第1回りんごの町の夏まつり（8月）
- 平成9年  
りんごの樹オーナー制始まる（8月）  
朝日町ホームページ開設（3月）
- 平成10年  
県立左沢高校朝日分校最後の卒業式  
常陸宮様ご夫妻朝日町を訪問（10月）  
全国朝日サミット開催（10月）
- 平成11年  
朝日自然観民営化（4月）  
NPO朝日町エコミュージアム協会発足（12月）
- 平成12年【西暦2000年】  
介護保険制度スタート  
ワイン城完成（4月）  
エコミュージアムセンター創遊館オープン（6月）  
なんでも鑑定団公開録画（8月）
- 平成13年【21世紀がスタート】  
町オーストリッチ展示圃オープン（8月）  
「あじひか（現シナノすいへと）初出荷」  
（10月）
- 平成14年  
市町村合併調査研究会立ち上げ（5月）
- 平成15年  
第18回国民文化祭開催（10月）
- 平成16年  
合併町民アンケート実施（3月）  
〃 結果公開（4月）  
合併せずに自立の道を選択（5月）



近年は市町村合併の記事が多く特集として組まれ、町民を対象とした「合併に関するアンケート調査」の結果を掲載。「自立の道」を選択した朝日町として、今後の新しい町づくりが期待されます。

近年は市町村合併の記事が多く特集として組まれ、町民を対象とした「合併に関するアンケート調査」の結果を掲載。「自立の道」を選択した朝日町として、今後の新しい町づくりが期待されます。

物「りんご」の生産について導入し、町を挙げての市場の拡大や販売戦力に力を注いできました。その他「りんごの樹オーナー制」など、りんご産地としての新たな取り組みが行われています。

## 各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第20回町高齢者ゲートボール大会（9月29日・西部地区総合運動場）

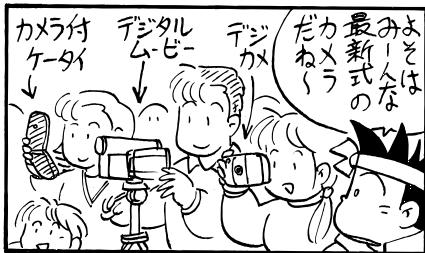
第20回町高齢者ゲートボール大会（9月29日・西部地区総合運動場）

■第14回町長寿クラブ・ウォーキング大会（9月17日・立木研修センター）

盤<sup>6</sup>(齊藤キヌ子(夏草)▽小学)  
生の部①阿部友樹(常盤)②長岡真也(常盤)  
③長岡友樹(常盤)  
④阿部春姫(常盤)

# となりの おひるնこさん

作・ホリイ (166)



## 今月の新刊 紙面上お休みします

皆さんからご愛好いただいている「今月の新刊(おすすめ本)」ですが、紙面の関係上、今月はお休みさせていただきます。

なお、図書館に新刊内容をお知らせする『緑の風』が準備してありますので、そちらをご利用いただければと思います。

ご理解のほどを、よろしくお願い申し上げます。

朝日町広報委員会



## 緑町/ 島子さん 島邦俊



様々な鉢植えが飾られた階段を上り玄関に入ると、まず目に飛び込んできたのが、島子さんが大好きだという「いわさきちひろ」の絵。額は、最近木工に夢中だという俊邦さんの作品だ。室内には季節の花が飾られ、耳を澄ますとさり気なくクラシックが流れている。そして、愛猫みーちゃんがお出迎え。

30年ものマラソン歴を持つお二人。これまでホノルルやゴールドコースト、ニューカレドニアのフルマラソンにも出場しています。「海外の大会は、みんなとても楽しんで走っている。その雰囲気が大好きなんです」と笑顔で語るお二人。

また、これまで教育カウンセラーをしてきた島子さんは、その経験を生かし、県知事認定第2号の専門里親の資格を取り、親から虐待を受けて心と体に傷を負った子どもたちを受け入れ、ケアするという難しい仕事をにも携わっています。

旅行やマラソン、土いじりや短歌など、日常のいろいろなことを二人で共有して楽しみ、語り合い、たまにはケンカもする。それが二人の普通の生活だと語る俊邦さん。優しい強さと自然体な感じがとても素敵なご夫妻でした。

- |  |  |
|--|--|
| <p>△バスケットボール（陵東中学校）<br/>①男子 / ②女子</p> <p>△野球（寒河江市野球場）③</p> <p>△柔道（朝日町民体育館）</p>   | <p>※朝日中の成績のみ記載</p> <p>△バドミントン（寒河江市バドミントンセンター）</p> <p>△卓球（寒河江市卓球場）③</p> |
| <p>△剣道（大江中学校）<br/>③男子団体 / ②女子団体 / 男子個人<br/>人①佐藤央規 / 同66kg級①高橋拓也 / 女子個人44kg級①石井亞弥②和田麻里奈③長岡咲希 / 同48kg級③白田沙織③清野智果 / 同57kg級③五十嵐愛 / 同63kg級②岡崎</p> | <p>△ソフトテニス（SSL河北）<br/>③団体 / 個人③志藤大亮・鈴木碧</p>                            |

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。  
町に対する意見や要望、提案みなさん周りでの出来事や話題、日々感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地  
朝日町役場企画課 協働推進係  
(電話：67-2112 フックス：67-2117)
- Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp  
■ホームページ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

## 町民の声

### 最近のお知らせ板の文字 小さくて読めません！

**最** 近、お知らせ板の文字、めっぽう小さくなりましたね。高齢者の多い朝日町なら、もう少し文字を大きくしてください。メガネなしではとても見えません。

【匿名】

**申** 摘のとおり、以前に比べると文字の大きさが小さくなっていたようです。そこで、対応を取らさせていただきました。九月十六日発行の分からポイント数（文字の大きさ）を1ポイント大きくしていきます。

これからも読みやすい紙面に心がけたいと思いますので、町広報委員会事務局（役場企画課内／☎ 67-2112）まで、「ご意見」感想などを寄せください。

【町広報委員会】

### 雑封筒の活用について

#### 注意が必要なのでは？

**最** 近、気が付いたことがあります。それは、雑封筒を使用する際のことです。節約しているということは十分理解できますが、使い方に問題があると思います。

やはり、使用済みの封筒には、きちんと紙を貼るなどして使用した方がいいのではないかと思う。使われた使用済みの封筒を見て「あれ？」

と思うようなことが多々あるからです。封筒に単なるペンによるチェック「×」だけではダメだと思います。

【匿名】

**経** 費削減のため、町では雑封筒や雑用紙の活用を進めています。しかし、ご指摘のとおり、活用する際の注意事項について、対応が徹底していかなかったことは確かのようですが、今後、誤解などが生じないよう、全職員に対し指導を図ります。

【総務課】

### 今回の「音」募集の企画 迷わず六つ応募します。

**私** は、日曜日朝のNHKラジオ「音に逢いたい」の大ファンです。今回の「わたしの町の音を募集する」企画を目にした時、迷わず五

つくらい考えようと思いました。そして、五つを書き終わつた今、ふと気付くとすぐ側に、こおろぎの声がありました。

いつの日までも、虫の声や小鳥の声が絶えることのない朝日町であつてほしいものです。

【安藤チヨエさん（大町）】

### あさひまちの宝箱 vol. 12

#### 力持ち 丹波の七重の塔

昔、上芦沢さ丹波という力持ちがおったけど。これまだ力持ちの畠谷（山辺町）の平蔵が力くらべをするべえと思って、上芦沢の丹波の家まで来たんだけど。丹波は6つになる娘さ「たばこ盆持つてきてくれ」て言いつけだ。そうしたら奥の間の置火鉢を、ひょいとキセルの先にひっかけで軽々と平蔵の前まで運んできたんだ。びっくり仰天



した平蔵は、こんな娘でもすごい力があるのだから父親の丹波はどれだけ力があるかわからねえと、すごすご畠谷さ帰ったんだけどは…。

山形のお城の石垣積みも、平蔵と丹波、鶴田の吉治、出塙の能登みなして相談して手伝うこととしたんだ。何年もかかってりっぱにできあがったんだ。

上芦沢に残る丹波の七重の塔は、今も岡崎小兵衛さん（水本）のご先祖の墓として、三百数十年間の歴史とともに大切に守られています。

（文 高橋呼雪・県民の森 森の案内人）

※あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙の折り込みはがきを利用し応募ください。あさひまち宝さがし実行委員会



平成16年(2004年)  
■9月1日～9月30日届出



## すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
能中	渡辺 日花	女	昭浩・ルミ
助ノ巻	佐藤 風花	女	洋一・希
中沢	堀 菜太	男	啓・敦美
夏草	奥山 倍楽	男	強・美奈



## おしあわせに

阿部 春樹  
(常盤)

五十嵐 直子  
(白鷹町)



## やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大谷一	白田 秀雄	いそ
ふれあい荘	阿部 うめ	本人
松 程	阿部 榮子	賢次郎
大 隅	大竹 かつ	紘一郎
太郎一	長岡 ゆき	正吉
大谷五	川村 正一	文利
大 隅	白田 昭治	幸代
四ノ沢	清野 ヒロ	圭一郎

掲載を希望しない方は、お届けの際に申し出ください。

## 人口と世帯数

### ●平成16年9月30日現在

人口 8,963人(減1人)

男 4,447人(増3人)

女 4,516人(減4人)

世帯数 2,569戸(±0)

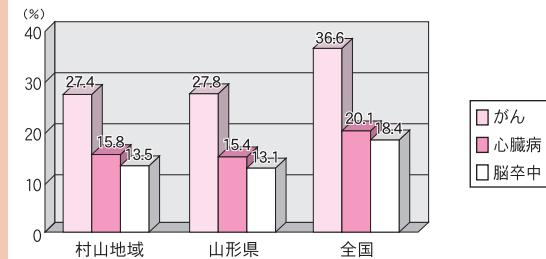
( )内 前月比

# きょうの健康 あしたの健康

自分の健康について興味をお持ちですか。  
死因の第1位である「がん」の予防について考えてみましょう。

働き盛りの壮年期の死亡原因の第1位はがんによるもので、心臓病や脳卒中の約2倍で「早死」の大好きな原因になっています。

死亡総数(全年齢)に占める壮年期死亡の割合(平成14年)



壮年期のがん死亡を部位別にみると、胃がん、肺がん、大腸がんが多く、全体の約半数を占めています。また、女性のがんでは、乳がんが増加しています。

### 壮年期に多いがんを予防するための重要なポイント

がんを予防するためには、禁煙と食生活改善が大切です。特に食生活の問題として、野菜不足があげられます。色の濃い野菜（かぼちゃ、人参、ほうれん草など）や果物は発がん物質の働きを抑えるのです。ぜひ毎日の食卓にどうぞ。

#### ☆肺がんの予防

たばこをやめましょう。たばこを吸う人はもちろん、周りでたばこの煙を吸ってしまう人も肺がんになりやすいのです。

#### ☆胃がんの予防

栄養のバランスに心がけ、塩分を取りすぎないようにしましょう。

#### ☆大腸がんの予防

脂肪の取りすぎに注意し、食物繊維の多い食物を努めて食べましょう。

#### ☆乳がんの予防

脂肪の取りすぎに注意し、太りすぎないようにしましょう。

### 早期発見、早期治療が重要

◎年1回健康診断を受けましょう。

◎要精検の場合、必ず精密検査を受けましょう。

## わたしの町の「音」を募集します。

応募の際は、広報紙の折り込みはがきや官製ハガキに、①応募する音、②その音にまつわる思い出やエピソードあるいは推薦したい理由などを一〇〇字以内で、③住所、④集落名、⑤氏名（ふりがな）、⑥年齢、⑦電話番号を記入し、町広報委員会事務局（役場企画課☎671-2112）までご郵送ください。なお、応募締切は今年の十一月末日です。お急ぎください。

【町広報委員会】

心に響くわたしの町「朝日」の音を募集します。来年の元旦号あたりを利用してみんなさんに紹介していくたい考えです。

「ふと気付くとそこにあれる音」「なぜか心が安らぐ音」「ぜひみんなに聞いてほしい音」など、十人十色の心に響く音があるはずです。目を閉じて耳を澄ませてみてください。日頃聞き慣れない音が、みんなの耳に飛び込んでくるはずです。



# 朝日町の原風景 写真コンテスト作品 vol.18

## 佳作 晩秋の浮島



職場を退職してから趣味を持とうと写真教室に入ったことをきっかけに写真を撮り始めました。

大沼の浮島に行った際に、紅葉の盛りは過ぎていましたが、きれいな沼と紅葉した楓の一枝が印象的でフレームに収めました。

今度また、機会があったら、紅葉真っ盛りの浮島の写真を撮りに訪れたいです。

撮影者 松嶋成幸さん（山形市）

### 春夏秋冬

#### 編集後記

暦の上ではとっくに秋。でも、今年の気候は何か変で、「いつになつたら朝晩寒くなるんだろう?」と思いつながら、ついこの間までTシャツ姿で朝の散歩をしていました。しかし、十月も半ばを迎えるこの頃となると、やはり体に応える寒さがやはりやってきましたよ。夏場生まれのわたしにとっては、寒さは芯から疼きます。こんな日の序の口。これからまだ厳しい冬の寒さが待ち受けているというのに…。憂鬱…。

秋と言えば「食欲の秋」。そろそろ食卓には鍋物が似合う季節です。家族みんなで鍋を囲んで鍋パーティー。真っ白な湯気が食卓を包み込み、みんながフウフウする光景。い！ですね。ところで、美味しいからと言つて食べてばかりいないで、これを機に「朝食の大切さ」家族みんなで真剣に考えてみませんか。

鉛虫も 寒さは応える

秋の夜  
(はやけん)



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。